

1

〔問題1〕

語り部を務めてきた自分がいなくなっても被
爆体験を今後とも継承していくため。

40

〔問題2〕

A Iに頼っている、自分で調べて選択した
り、文章を書いたり、自分で調べむから。

40

〔問題3〕

文章Iと文章IIによると、A Iの長所は、
複雑な仕事を自律的にすばやく行なえること
です。しかし、A Iの機能に頼りすぎると、
課題発見や判断に欠かせない「考える力」が
低下しやすいという短所もあります。
私たちには、この長所と短所をふまえて、ど
のようになり、A Iを使ったらよいでしょうか。私
は最初からA Iに頼りすぎず、まず自分自身
で調べたり考えたりするのがよいと思います。
たとえば、授業で発表や調べ学習をすると
きは、A Iで調べる前に、図書館に行つて、
本や新聞を使つて調べるときは、
日常生活でも、自分で文章を考えて手紙を書
くなど、「自分の頭と手を使う」ように心が
けるつもりです。
これから世界の中心では、学習や仕事、日常
生活のさまざまな場面でも、A Iを使ったようにな
ります。A Iの長所と短所を知つたうえで、
よりよい使い方を学んでいく必要があると思
います。

400 300 200 100

受検番号
氏名

得点
※

※

※

※

※のらんは、記入しないこと